



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和5年7月14日発行 第4号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

「いじり、がいじめにならないように。」

ー多様性を考える①「いじめ見逃しゼロ集会」ー

本年度、文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受け、多様性の理解を通じて、人権について深く考えています。その一環として、いじめ見逃しゼロ集会を保護者や地域の方にも公開して開催しました。



今回は、新潟お笑い集団NAMARAのジャックポットのお二人（いずれも新潟市出身、現在、「にいがた銭湯大使」として活躍中）を講師にお招きして、「一人一人の違いを認め合う」をテーマにご講演頂き、その後交流レクリエーションを実施しました。



生徒の感想と参観された保護者・地域の方の声を紹介します。

- 「自分と違う人や違う考えを持っている人を認めるのが大切だと感じた。」（生徒）
「いじられている人も笑ってないと、いじめになるっていうのが心に残った。」（生徒）
「自分からコミュニケーションを取ることが大切。勇気を出して話しかけたい。」（生徒）
「会話をしなくてもコミュニケーションがとれる体験ができ、とても楽しかった。」（生徒）
「いじり、がいじめにならないようみんな笑顔で楽しい学校生活を送りたい。」（生徒）
「みんな見方の違いがあり、それも受け入れ認めることが大切だと思いました。」（参観者）
「解散した後、再コンビに向けて、どのように歩み寄られたかいつか伺いたい。」（参観者）

生徒会執行部には事前に本集会を企画するにあたり、「互いの違いを理解すること」を重点に置いて考えて欲しい旨を伝えました。その際、メンバーの一人がこんな意見を発表しました。

「私たちはすでに互いを理解し合っているから、校外を含め多くの人と交流がしたい。」

その意識の高さに、私は驚きました。これを受け、2回目の集会では、校外の方との交流も検討しています。また、以下の行事や授業は保護者、地域の方に公開します。その都度、学校

だより等でご案内いたします。多くの方からお出でいただきたいと願っています。

9月16日（土） 川東中学校「東雲祭」（体育祭）
10月18日（水） 川東中学校「いじめ見逃しゼロ集会」②
10月26日（木） 川東中学校「川音祭」（合唱発表会）
1月19日（金） 川東中学校「授業公開（人権教育、同和教育）」



学力向上に授業力向上は不可欠

学力向上に向けて、教員も「授業力向上」の努力を怠りません。授業研究（生徒の学力向上のためにどんな授業が有効かを考えて準備をすること）と研究授業（授業を他の職員に公開し、工夫や手立てについて意見交換すること）によりその力を養っています。

研究授業①高橋光輝教諭の国語授業（2年生）＝6月28日（水）＝

敬語の使い方について、班ごとにロールプレイ（役割演技）をする活動を通して、場面に応じて敬語を使い分けができることを目標に研究授業を行いました。



各班に割り当てられた場面において、どのような敬語が適切かを熱心に議論する様子が見られました。さらに、後半には班ごとに行った役割演技について適切であったか、他の言い方はないか意見交換が行われました。大人でも、自信が持てない敬語の使い方を真剣に考える様子が見られました。

地区大会報告会終了

先日、下越地区総合体育大会が終了しました。たくさんの時間を練習に費やした分、3年生はもちろん、1，2年生にとっても多くを学んだことと思います。結果はそれぞれですが、悔しさは多少なりともあると思います。講話の抜粋を紹介します。



悔しさを晴らす方法は2つある。1つめは、後輩が目標を達成すること。先輩たちに教わり、先輩の取組を見てきた後輩だからこそできること。先輩の思いを引き継いでほしい。2つめは高校に行って、続けるということ。500時間かけて身につけた技術や思い出は誰も奪うことはできない。続けることで、悔しさを払拭できる日が来るかも知れない。「引退を迎え、振り返ってください。部活動を通してどんなことを学びましたか。」「先輩の思いを引き継いで、さらなる成果を上げるために、1，2年生は何をしますか。」

各部長が具体的に学んだ、ということをも1つずつ選んでももらいました。紹介します。

「あっという間だな」

3年はとても長いだろうと思っていました。でも、中学校の部活動の時間はとても充実していてすぐに過ぎてしまいました。この1

「仲間の大切さ」

バレーはチームで協力しないと行けず、6人いないと成り立ちません。だからこそ、仲間と協力する大切さを学ぶことができました。

「信じることの大切さ」

卓球は試合展開が早く1回のミスが命取りになるため緊張します。強気で臨むよう心がけたら、いつも通り考え、動けました。信じた

年、1日1日を、一瞬一瞬を大切にしたいと思いました。
(バスケ部部長)

た。部活内の絆が深まりました。バレー部に感謝です。(バレー部部長)

分だけ自分に力を与えてくれるものだと思いました。
(卓球部部長)

地区大会を勝ち抜いて卓球部が個人戦で県大会(7/16小千谷総合体育館)出場を決めました。下越地区を代表して出場するということは、負けた人の分も頑張る、ということだと思います。同時に、川東中学校の代表して頑張っていて欲しいと願っています。